

この度、アメリカ・イリノイ州シカゴで開催されました 2011 ASCO (American Society of Clinical Oncology) に、上司の田邊とともに参加してまいりました。私は海外出張経験がほとんどなく、初めてのシカゴであり非常に緊張しました。シカゴはアル・カポネの印象が強く治安を心配しておりましたが、近年は国際的なコンベンション誘致に力を入れているようで、非常に清潔で安全な印象を受けました。学会は巨大なコンベンションセンターである McCormick Place で開催され、町中を送迎バスが駆け巡り、コンベンションセンターの 1 階は全てバスターミナルというとても大きな学会でした。

胃がん関連の演題では、GIST に対するグリベックの術後補助化学療法 3 年群が 1 年群に比べ、DFS のみならず OS においても有意差を認めたという報告や、進行・再発胃癌に対する 2nd-line 化学療法が BSC に比較し OS が延長するという大規模 RCT の報告、StageII / IIIA / IIIB 胃癌を対象とした術後補助化学療法 XELOX (6 か月間) 群が手術単独群と比較し 3 年間再発リスクを有意に低下させたというものが主だった報告でした。

今まで国内学会には積極的に参加しておりましたが、海外学会にはなかなか参加する機会がありませんでした。JACCRO の短期海外派遣制度により初めて ASCO に参加させていただき、最新的话题を生で聴取することができ、非常に有意義に過ごさせていただきました。今後は今まで以上に積極的に臨床試験に参加し、症例登録していきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の機会を与えていただきました JACCRO の関係者の方々には心から感謝いたしております。